

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 東広島市立高屋中学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全学年 574名
3 展開の形式	(○) 教科で実施 教科名 (保健体育) () 教科以外で実施 ()
4 目標（ねらい）	一流の選手の成功体験から、成功に必要な要素について学ぶ 一流の選手の人生から、自らの生き方を考える
5 取組内容	事前学習：杉山祥子氏の経歴を知る 講演を聴く 事後学習：講演を聴いて感じたことをまとめ、自己の生き方を考える。
6 主な成果	講演会を通しての生徒の気づきには、杉山氏の経歴に対するものや、スポーツにのみフォーカスしたものだけでなく、「人と比べて劣等感を感じることがよくあるが、講演を通して、昨日の自分をライバルとして、努力を継続することを頑張りたい」、「話を聞いていて、今の自分に満足できていないのは、自分の努力が足りていないからだ気づいた」、「上手いかないことがあっても、あきらめたり自暴自棄になったりせずに、そんな時こそコツコツ取り組むことが大切だと学んだ」、「大切なことにいつ気づいても、遅すぎるということはなく、そこから頑張ることが大切だと思った」など、様々な気づきがあった。これからの自己の生き方や、物事の考え方について生徒が考えるきっかけになった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	全ての生徒に平等に良い経験を積んでもらうために、学年やクラスごとではなく、講演会という形で行った。
8 主な課題等	講演者の講演の内容が詳しく分からず、他のテーマで取り組もうとする時には、見通しが持ちづらく、より深い学びにしていけるための事前学習や、事後学習の計画が難しい。
9 来年度以降の実践予定	機会をいただけるのであれば、今回の反省を受けて、事前の打ち合わせをより密に行い、生徒の学びを仕組んでいける取組として行っていきたいと考えている。